

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
1	目次		匝瑳市の置かれた状況	匝瑳市の置かれた状況と今後の方向性
2	1		1. 匝瑳市の置かれた状況	1. 匝瑳市の置かれた状況と今後の方向性
3	1	(1)ますます人口減少が進み、今後も加速することが予想されています。	全国的に人口減少が進み、多くの地方公共団体で人口減少対策が喫緊の課題となっています。本市でも平成7年ごろをピークに総人口が減少に転じ、このまま人口減少が続けば、 <u>国立社会保障人口問題研究所の推計値によると、20年後の平成47年には約2万8千人になると予想されています。</u>	全国的に人口減少が進み、多くの自治体で人口減少対策が喫緊の課題となっています。本市でも平成7年ごろをピークに総人口が減少に転じ、このまま人口減少が続けば、 <u>20年後の平成47年には約2万8千人になると推計されています。</u>
4	1	(1)ますます人口減少が進み、今後も加速することが予想されています。	○地域が空洞化し、市民相互の交流がますます失われてしまいます。	○地域がスカスカになり、市民相互の交流がますます失われてしまいます。
5	1	(1)ますます人口減少が進み、今後も加速することが予想されています。	○ <u>学校の統廃合が進んでいきます。</u>	○ <u>学校が統廃合されてしまいます。</u>
6	1	(1)ますます人口減少が進み、今後も加速することが予想されています。	○ <u>道路や公共施設などの適切な維持管理ができなくなります。</u>	○ <u>道路や上下水道、公共施設等の適切な維持管理ができなくなります。</u>
7	1	(1)ますます人口減少が進み、今後も加速することが予想されています。	○ <u>限界集落が出てきてしまいます。</u>	○ <u>限界集落が増えます。</u>

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
8	1	(2)20年後には高齢化率が40%を超えると予想されています。	(2) 20年後には高齢化率が40%を超えると予想されています。	(2) 20年後には高齢化率が40%を超えると推計されています。
9	1	(2)20年後には高齢化率が40%を超えると予想されています。 【私たちのまち・暮らしはこうなるかも…】 ○四つ目	○医療や介護などにかかる費用が増え、財政が悪化し、 <u>新たな行政需要に対応できなくなります。</u>	○医療や介護などにかかる費用が増え、財政が悪化し、 <u>投資的な予算が使えなくなります。</u>
10	2	(3)厳しい地方財政が予想されます。 【私たちのまち・暮らしはこうなるかも…】 ○二つ目	○税収はますます減っていく一方で、 <u>医療・福祉など、社会保障関係経費が増えていきます。</u>	○税収はますます減っていく一方で、 <u>高齢者に必要な費用がますます増えていきます。</u>
11	2	(4)本市の状況に即したまちづくりが求められます。	高齢者や若い世代の実情に応じた支援をはじめ、多様化するニーズに応じていくまちづくりが求められています。そのためには、地方分権の流れに即した自立的な自治体運営が必要不可欠です。画一的なまちづくりではなく、生活課題へのきめ細やかな対応や、地域の魅力を多角的に発信していく積極的な対応が求められていきます。 <u>また、行政が単独でまちづくりにあたっていくことには限界が生じていく一方で、市民や事業者の方々が積極的に地域に関わりを持っていくことによって、さまざまな可能性がひらかれることも期待されています。さらには、これまでの活動の蓄積と新しい取組を融合させながら、限られた地域資源を最大限に活かしていくことも問われています。</u> <u>その意味において、行政と市民・事業者が積極的に連携を図っていくことによって、それぞれできることを持ち寄り、それらを結びつけていくことを通じて課題を解決していくことがますます必要とされています。</u> ⇒【(5)市民の地域参加が求められていきます】から追加し、(5)は削除	高齢者や若い世代の実情に応じた支援をはじめ、多様化するニーズに応じていくまちづくりが求められています。そのためには、地方分権の流れに即した自立的な自治体運営が必要不可欠です。画一的なまちづくりではなく、生活課題へのきめ細やかな対応や、地域の魅力を多角的に発信していく積極的な対応が求められていきます。

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
12	3	(1)自然環境	本市には豊かな自然環境があります。美しい里山や九十九里浜などの自然資源に恵まれており、まちづくりへのさらなる活用が期待されています。また、 <u>比較的自然災害が少ないことも特徴のひとつです。</u>	本市には豊かな自然環境があります。美しい里山や九十九里浜などの自然資源に恵まれており、まちづくりへのさらなる活用が期待されています。自然環境が豊かでありながら、 <u>比較的自然災害が少ないことも特徴のひとつです。</u>
13	3	(2)歴史・文化	古くは市場町として栄え、歴史的建造物や地域に根ざした祭りなど数多くの有形・無形の文化財が存在しており、私たちの自慢の一つとなっています。それらを保全・活用しつつ、 <u>八重垣神社祇園祭では、女神輿を実施するなど柔軟に新しいやり方を取り入れているところも強みといえます。</u>	古くは街道と街道が交差する交通の要衝として栄え、歴史的建造物や地域に根ざした祭りなど数多くの有形・無形の文化財が存在しており、私たちの自慢の一つとなっています。それらを保全・活用しつつ、女神輿を実施するなど柔軟に新しいやり方を取り入れているところも強みといえます。
14	3	(3)産業・雇用	本市は農業が盛んであり、特に日本有数の植木のまちとして産業の振興が図られているほか、みどり平工業団地に多くの工場が立地しています。一方で、産業の裾野が狭く、多様な産業が育まれていないという弱みもあり、若者にとって魅力ある働く場が少ないことが課題となっています。	本市は農水産業が盛んであり、特に日本屈指の植木のまちとして産業の振興が図られているほか、みどり平工業団地に多くの工場が立地しています。一方で、産業の裾野が狭く、多様な産業が育まれていないという弱みもあり、若者にとって魅力ある働く場が少ないことが課題となっています。また、 <u>景気が低迷し、所得が減少していることなどを背景に共働き世帯も増えてきており、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが求められています。</u>
15	4	(6)地域活動	本市の強みとして、地域住民同士のつながりが深く、共同体意識が強いこと、元気な高齢者が多く、活発な地域活動が行われていることが挙げられます。小学校単位での行事などが盛んに行われ、 <u>通学路などのごみ拾いや草刈りをするなど自分たちの地域をきれいにする活動も行われています。</u> また、区長会組織が全地域にわたって活動しやすいという状況にあります。しかしながら、最近では活動組織の高齢化が進み、役員のみならず、リーダーが育たないといった課題が出てきています。また、 <u>旧住民と新住民との連帯感や団体・サークル間の横の連携が不足しているなど、地域としての一体感を醸成していくことも課題となっています。</u>	本市の強みとして、地域住民同士のつながりが深く、共同体意識が強いこと、元気な高齢者が多く、活発な地域活動が行われていることが挙げられます。小学校単位での行事などが盛んに行われ、 <u>通学路等のごみ拾いをしたり土手を刈ったり自分たちの地域をきれいにする活動も行われています。</u> また、区長会組織が全地域にわたって活動しやすいという環境があります。しかしながら、最近では活動組織の高齢化が進み、役員のみならず、リーダーが育たない、または新規事業に取り組むことができないといった課題が出てきています。また、 <u>旧市街と新興住宅街との連帯感や団体・サークル間の横の連携が不足しているなど、地域としての一体感を醸成していくことも課題となっています。</u>

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
16	4	(7)市民協働のまちづくりに向けて ⇒削除		こうした本市の弱みを克服し、強みを活かしていくためには、市民や事業者の持ちうるものを積極的に出し合い、それらを結びつけることによって「地域力」を作りだしていくことが必要となります。地域の実情について情報の共有を図り、地域の人々が自分なりにまちづくりの思いや関心でまちづくりに関わっていくことが、本市の持続可能性を生み出していきます。
17	5	3. 協働とは (1)協働って何？ (協働の定義)	本市では、総合計画をはじめ各種計画において「協働」をかかげ、	本市では、総合計画をはじめ各種計画において「協働」をうたい、
18	5	3. 協働とは 私たちの協働	地域における多様な主体が地域におけるさまざまな課題を共有し、「自分ごと」として捉えつつ、一緒に知恵を絞る、できることを持ち寄りながら、その解決に向けて連携・協力して取り組んでいくこと。	地域における多様な主体と行政が地域におけるさまざまな課題を共有し、「自分ごと」として捉えつつ、一緒に知恵を絞る、できることを持ち寄りながら、その解決に向けて連携・協力して取り組んでいくこと。
19	5	3. 協働とは キャッチフレーズ	<u>創意と工夫で</u> <u>生み出す</u> <u>支え合う協働のまちづくり</u>	<u>創意工夫を通じて</u> <u>生み出していく</u> <u>支え合いのまちづくり</u>
20	6	(2)協働にとって大切なこと(協働の基本原則)	私たちが自分ごととして地域課題を捉え、地域ぐるみで連携・協力してその解決に取り組んでいくにあたり、協働に対する共通認識をさらに深めていくために、基本原則として「協働にとって大切なこと」を8つにまとめてみました。	私たちが自分ごととして地域課題を捉え、地域ぐるみで連携・協力してその解決に取り組んでいくにあたり、協働に対する共通認識をさらに深めていくために、基本原則として「協働にとって大切なこと」を7つにまとめてみました。
21	6	(2)協働にとって大切なこと(協働の基本原則)	⑤「自分ごと」として認識すること(主体性) 各主体が地域への関心を高め、解決に向けた取組の必要性を十分理解し、または自ら発案して、「自分ごと」として積極的に取り組んでいくことが大切です。	⑤「自分ごと」として認識すること(主体性) 各主体が地域への関心を高め、解決に向けた取組の必要性を十分理解し、あるいは自ら発案して、「自分ごと」として積極的に取り組んでいくことが大切です。

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
22	6	(2)協働にとって大切なこと(協働の基本原則)	⑧ 創意工夫により、できる限りの可能性を模索すること(独創性) 課題解決に向けた目的を共有しつつ、各主体が創意工夫し、できる限りの可能性を模索していくことが大切です。 ⇒追加	
23	8	例えば協働ってこんなこと	『認知症になっても安心して暮らせるために』 ⇒追加	
24	9	【協働を進めるパートナーの例】 市民	本市で暮らす市民、本市への通勤・通学者など	本市で暮らす市民、本市への通勤・通学者、本市出身者など
25	9	【協働を進めるパートナーの例】 企業・事業所	本市と関連のある企業・事業所	本市と関連のある民間企業・事業所
26	9	【協働の分野の例】 保健・福祉	・地域で理解・協力を得ながら暮らすことができる障害者支援 ⇒追加	
27	10	4. 協働指針の目的と位置づけ (1)新たなステージの「はじまり」としての指針	○本市では比較的郷土意識が高く、各集落内でのつながりや地元行事が各地で行われており、知らず知らずのうちに従来から「協働」の形態がとられてきました。本指針は、こうした協働をさらに地域全体に根付かせ、より進化させるための新たなステージの「はじまり」としての役割を果たします。	○本市では比較的郷土意識が高く、各集落内でのつながりや地元行事が各地で行われており、知らず知らずのうちに従来から「協働」の形態がとられてきた部分も大いにあります。本指針は、こうした協働をさらに地域全体に根付かせ、より進化させるための新たなステージの「はじまり」の象徴としての役割を果たします。

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
28	10	4. 協働指針の目的と位置づけ (1) 新たなステージの「はじまり」としての指針	○本市における協働の新たなステージの「はじまり」として、これまで行われていた協働のまちづくりを全市的に展開し、 <u>市民、地域活動団体、行政をはじめとする多様な主体が多角的に連携しながら、課題解決と魅力発信に努めていくためには、そのことへのチャレンジと継続が大事であり、トライアンドエラーで失敗を恐れず活動を続けることが重要です。策定して終わりではなく、継続的、定期的な点検・評価を行い、必要に応じて見直していくこととします。</u>	○本市における協働の新たなステージの「はじまり」として、これまで部分的に行われていた協働のまちづくりを全市的に展開し、 <u>様々な人々・団体・行政が多角的に連携しながら、課題解決と魅力発信に努めていくためには、そのことへのチャレンジと継続が大事であり、トライアンドエラーで失敗を恐れず活動を続けることが重要です。策定して終わりではなく、継続的、定期的な点検・評価を行い、必要に応じて見直していくこととします。</u>
29	10	4. 協働指針の目的と位置づけ (1) 新たなステージの「はじまり」としての指針	○本指針は、本市の「協働」における基本的な考え方や方向性を示すものです。本市の各分野におけるさまざまな施策において、本指針に示す協働の考え方に基づき推進するとともに、協働が推進される環境づくりに向け、本指針に示す方向性に基づいて具体的な施策・事業に取り込み、着実な実行を図ることとします。	○本指針は、本市の「協働」における基本的な考え方や方向性を示すものです。本市の各分野におけるさまざまな施策において、本指針に示す協働の考え方に基づき推進するとともに、協働が推進される環境づくりに向け、本指針に示す方向性に基づいて具体的な施策・事業に <u>落とし込み</u> 、着実な実行を図ることとします。
30	10	4. 協働指針の目的と位置づけ (2) 協働への理解を深め、共有し、本市ならではの協働を進めるための指針	○協働を推進するには、皆が少しずつ力を出し合い、恩恵を受けることが大事であり、価値観や発想の転換を市民全員で共有しなければなりません。本指針を活用し、 <u>市民、地域活動団体、行政をはじめとする多様な主体の協働に対する理解を深め、地域ぐるみで協働を進める土壌づくりを図ります。</u>	○協働を推進するには、皆が少しずつ力を出し合い、 <u>少しずつ</u> 恩恵を受けることが大事であり、価値観や発想の転換を市民全員で共有しなければなりません。本指針を活用し、 <u>市民、地域、市職員をはじめとする多様な主体の協働に対する理解を深め、地域ぐるみで協働を進める土壌づくりを図ります。</u>
31	10	4. 協働指針の目的と位置づけ (2) 協働への理解を深め、共有し、本市ならではの協働を進めるための指針	○本指針を共有することによって、「 <u>市民</u> 」「 <u>地域活動の担い手</u> 」「 <u>産業の担い手</u> 」「 <u>来訪者</u> 」「 <u>専門家</u> 」など、各方面の意向を探り、協力を求め、 <u>地域資源を多角的に活かせるあり方を追求していくことを目指します。</u>	○この指針を共有することによって、「 <u>住民</u> 」「 <u>地域活動の担い手</u> 」「 <u>産業の担い手</u> 」「 <u>来訪者</u> 」「 <u>専門家</u> 」など、各方面の意向を探り、協力を求め、 <u>地域資源を多角的に活かせるあり方を追求していくことを目指します。</u>
32	10	4. 協働指針の目的と位置づけ (2) 協働への理解を深め、共有し、本市ならではの協働を進めるための指針	○ <u>他地方公共団体などでの成功事例をそのまま本市に持ち込んだ形で協働を進めるのではなく、本市の実情にあった手法による協働を進めます。</u>	○ <u>他自治体等での成功事例をそのまま本市に当てはめた形で協働を進めるのではなく、本市の実情にあった手法による協働を進めます。</u>

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
33	11	4. 協働指針の目的と位置づけ (3)活動の輪を広げるための指針	○市民、地域活動団体、行政をはじめとする多様な主体と一緒に汗をかき、それぞれの得意分野で力を発揮しながら協働することにより大きな成果を得ることができます。これまで培われてきた取組を評価・検討しながら、その成果と課題を共有するとともに、お互いが補完し合いながらどのような発展を期待できるか、自分(たち)の問題として考えていけるような裾野を広げるための指針としての役割を果たします。	○さまざまな分野の個人、組織、団体等と一緒に汗をかき、それぞれの得意分野で力を発揮しながら協働することにより大きな成果を得ることができます。これまで培われてきた取組を評価・検討しながら、その成果と課題を共有するとともに、お互いが補完し合いながらどのような発展を期待できるか、自分(たち)の問題として考えていけるような裾野を広げるための指針としての役割を果たします。
34	11	4. 協働指針の目的と位置づけ (4)全庁的な施策・事業における指針	○協働は、そのこと自体が目的ではなく、課題解決に向けた手段であり、あらゆる領域・分野でその取組を推進していく必要があります。総合計画をはじめ、各分野別計画における施策・事業を推進するにあたり、本指針の考え方を踏まえた推進方法の検討および実行に対する評価を行うための基準とします。 ○協働による施策・事業の推進に対する評価においては、短期的な費用対効果を求めるものではなく、中・長期的な視野に立ち、市民の幸せと持続可能な地方公共団体運営に資する取組であることを評価することとします。 ⇒追加	
35	14	5. 協働を推進するために (2)しくみづくり ①情報提供・情報共有	○市民、地域活動団体、行政をはじめとする多様な主体がまちづくりの課題を共有し、一緒に取り組んでいくことができるよう、地域課題や市政の方向性、施策・事業の実施状況などについての積極的な情報提供・情報公開を進めます。	○多くの住民がまちづくりの課題を共有し、一緒に取り組んでいくことができるよう、市民や各種団体等が地域課題や市政の方向性、施策・事業の実施状況などについての積極的な情報提供・情報公開を進めます。
36		5. 協働を推進するために (2)しくみづくり ①情報提供・情報共有	○年齢や立場、環境が異なる人たちが情報を持ち合い、提供できるような場や機会の拡充を図ります。	○年齢や立場、環境が異なる人たちが情報を持ち合い、提供できるような場所(チャンス)の拡充を図ります。

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
37	15	5. 協働を推進するために (2)しくみづくり ④ 協働のPDCA	○本指針に基づき、各主体による取組を展開するための <u>推進計画</u> を策定するとともに、定期的に取組状況を点検・評価し、 <u>計画の見直しを行うこと</u> で、着実に効果的な協働の <u>まちづくりの推進</u> を図ります。	○協働指針に基づき、各主体による <u>具体的な取組</u> を展開するための <u>アクションプラン</u> を策定するとともに、定期的に取組状況を点検・評価し、 <u>プランの見直しに反映すること</u> で、着実に効果的な協働の <u>まちづくり推進</u> を図ります。
38	15	5. 協働を推進するために (2)しくみづくり ④ 協働のPDCA	○各課で協働を考え、検討することができる体制整備を図ります。	○各課で協働を考えたり、検討したりすることができる体制整備を図ります。
39	15	5. 協働を推進するために (2)しくみづくり ④ 協働のPDCA 【具体的な取組例】	協働推進計画の策定	協働推進アクションプランの策定
40	15	5. 協働を推進するために (2)しくみづくり ④ 協働のPDCA 【具体的な取組例】	・各種計画策定時のメンバーによる定期的な進捗管理の実施 ⇒追加	
41	15	5. 協働を推進するために (2)しくみづくり ④ 協働のPDCA 【各主体に期待する役割】	市民 ・人と人とのつながりを大事にします。 ⇒追加	
42	16	5. 協働を推進するために (3)体制づくり ① 地域活動団体による活動の活性化	① 地域活動団体による活動の活性化	① 各主体による活動の活性化
43	16	5. 協働を推進するために (3)体制づくり ② 企業・事業所における協働への参画	○企業・事業所が持つ機能や専門性を活かして、地域の発展や地域課題の解決に資する企業活動の拡充に取り組みます。 ○地域課題を共有するため、地域におけるさまざまな企業・事業所や各種団体などとのネットワークや話し合いの場に積極的に参加するとともに、地域活動に対する施設・設備などの貸し出しや寄付、ボランティア活動への参加・協力を呼びかけます。 ⇒追加	

変更一覧 第5回まちづくり委員会以降

番号	ページ	変更箇所	変更後	変更前
44	17	5. 協働を推進するために (3)体制づくり ④ 連携・協力ネットワークの構築 【具体的な取組例】		・各種計画策定時のメンバーによる定期的な進捗管理の実施 ⇒P15 ④ 協働のPDCA 【具体的な取組例】に異動
45	18	5. 協働を推進するために (3)体制づくり ⑤ 核・拠点づくり	○地域に小さな拠点(集会所などを活用)をつくり、相互連携や支え合いのネットワークづくりを推進します。	○地域に小さな拠点(公共施設から空き家活用まで)をつくり、相互連携や支え合いが網の目化していくようなネットワークづくりを推進します。
46	36	策定フロー図	・議会から市長へ意見。 ・市長から検討委員会へ指示。 ・事務局からまちづくり委員会の調整。 ⇒追加。	
47	共通		<u>地方公共団体</u>	<u>自治体</u>